

# 第 2 委 員 協 議 会 報 告 資 料

ページ

- 1 福岡市保健福祉総合計画策定の進捗状況の報告について …… 1

平成27年10月20日

保 健 福 祉 局

# 福岡市保健福祉総合計画策定の進捗状況の報告について

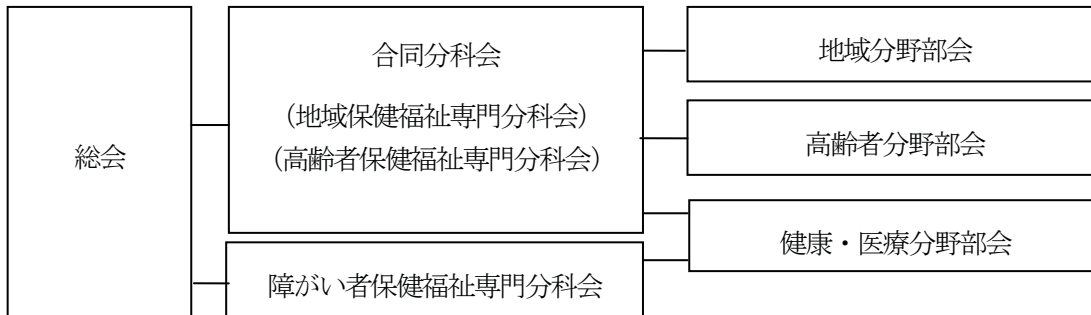
## (1) 概要

福岡市では、住み慣れた家庭や地域で誰もが安心して暮らし続けることができる健康福祉のまちづくりをめざし、来たる「超高齢社会」を見据え、平成28年度から平成32年度を計画期間とする保健福祉行政のマスタープランである福岡市保健福祉総合計画の策定を進めている。

計画策定を諮問している福岡市保健福祉審議会において、計画の総論部分まで審議が終了しており、現在は各論についてご審議いただいているところである。

## (2) 福岡市保健福祉審議会における審議体制

審議については、総会、専門分科会、部会の体制で行っている。



## (3) これまでの審議実績

年度	内 容 (◎総会, ○専門分科会, ◇部会)
平成26年度	◎総会 (諮問) (平成26年4月), ◎ほか総会 (1回) ○合同分科会(地域と高齢者) (2回) ○障がい者保健福祉専門分科会 (2回)
平成27年度	○合同分科会(地域と高齢者) (1回) ○障がい者保健福祉専門分科会 (3回) ◇健康・医療分野部会, ◇地域分野部会, ◇高齢者分野部会 (各2回)

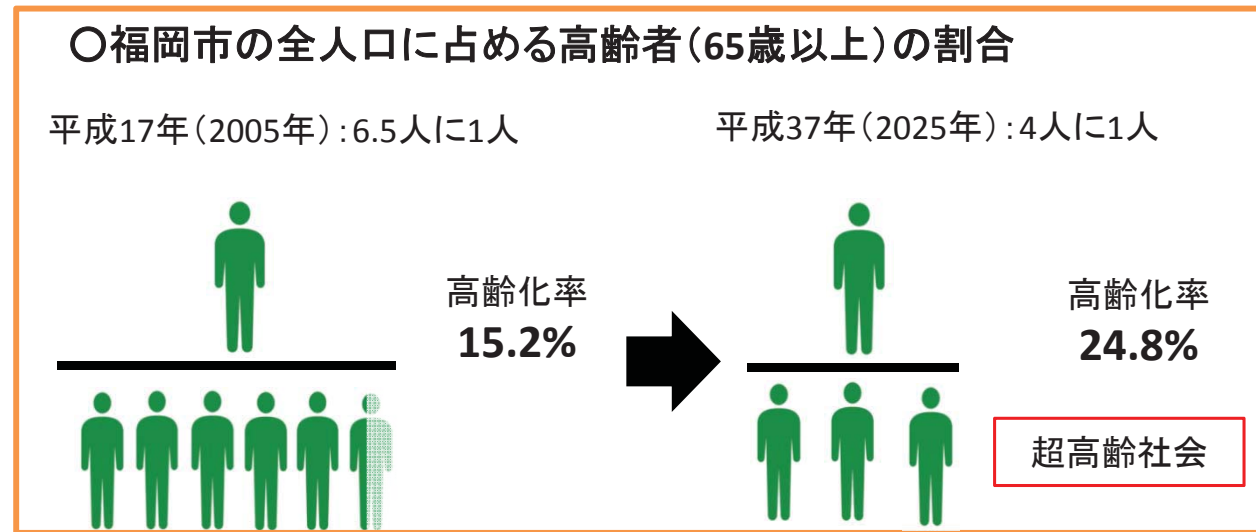
※第2委員会には、諮問前（平成26年2月）と総論の審議終了後（平成27年6月）に報告

## (4) 今後のスケジュール

平成27年度			平成28年度		
10~12月		1~3月		4~6月	
保健福祉審議会		●第2委員会報告		●計画策定、議会報告	
		市民意見募集		●答申	

## 1 10年後（2025年）を見据えた課題認識

### 社会の変化



### 想定される現象

- 人口構造の変化による社会の「支え手・担い手」の減少
- 単身高齢者・障がい者の増加
- 医療費や介護費用の高い後期高齢者の急増

### 市民生活への影響

- 入院や施設への入所が、困難になる。
- 買い物やごみ出しなどの日常生活が困る。
- 医療費や介護費用などの負担が大幅に増える。

### めざす方向性

来たるべき超少子高齢社会においても「生活の質」が維持・向上できる持続可能な制度や仕組みの構築

## 2 持続可能な制度や仕組み構築の視点

# 支える側へ

～ みんなで「支える側」へ、  
そして、支援が必要になっても安心して暮らせる地域やまちをみんなの力で ～

<これまでは>

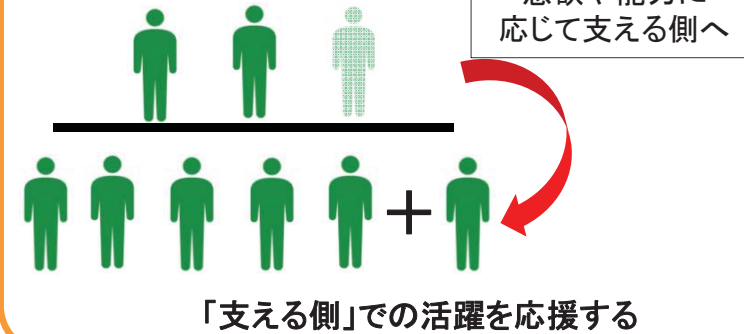
制度上、年齢等を条件に一律に「支えられる側」とされていた

<これからは>

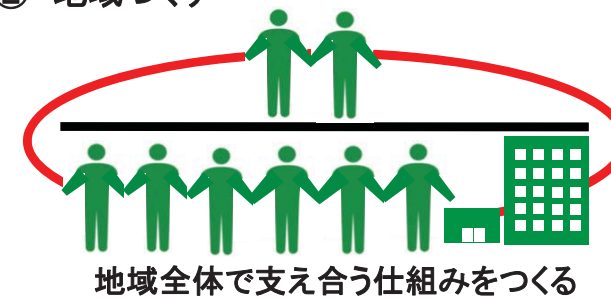
意欲や能力に応じて、できるだけ「支える側」で活躍する

支援が必要となっても、地域で支えられながら安心して暮らせる

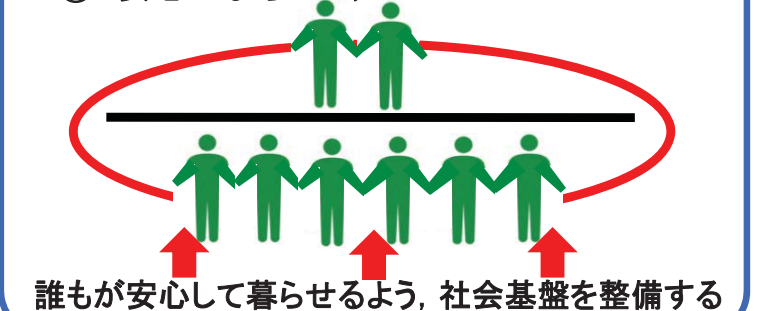
### ① 健康づくり・社会参加



### ② 地域づくり



### ③ 安心のまちづくり



## 3 10年後を見据えた施策の方向性

### ①健康づくり・社会参加

- ・高齢者や障がい者が、それぞれの意欲や能力に応じて、さまざまな形で社会参加し、できるだけ「支える側」として活躍できるよう、健康づくりや介護予防施策を推進
- ・「支える側」として活躍する人を支援する持続可能な制度や仕組みの構築

#### <主な新規・拡充施策>

##### ○健康づくり・介護予防・認知症予防

- ・できるだけ多くの市民が健康づくりや介護予防に積極的に取り組むことができるインセンティブの導入も含めた仕組みづくりを検討
- ・健康寿命延伸のための早期からの認知症予防策の強化

##### ○高齢者・障がい者の移動支援等

- ・NPO、社会福祉法人、地域団体、商店街、ボランティア等、さまざまな主体の参画による買物支援・通院支援施策等の実施

##### ○社会参加促進施策の強化

- ・できるだけ多くの市民が地域活動などへの参加に積極的に取り組むことができるインセンティブの導入も含めた仕組みづくりを検討

##### ○高齢者の生きがい創業・就業支援

- ・シルバー人材センターの機能強化を図るとともに、高齢者の意向や特性に即した新たな創業・就業の仕組みを構築

##### ○障がい特性に配慮した支援

- ・生活の実態等に応じた、きめ細やかな施策の実施による社会参加の支援
  - －発達障がい児・者へのライフステージを通した一貫した支援体制の構築
  - －就労支援の充実など

### ②地域づくり

- ・地域住民はもちろん、民間企業、社会福祉法人、NPO等の多様な主体が地域のさまざまな活動に参加し、支援が必要な人を支え合う施策を推進
- ・高齢者や障がい者を見守り、支え合う地域を支援する持続可能な制度や仕組みの構築

#### <主な新規・拡充施策>

##### ○地域の絆づくり

- ・より多くの地域住民の参加による見守り活動の充実や生活支援サービスの拡充
- ・「地域カフェ」等の拡大による、住民同士の顔の見える関係づくり

##### ○認知症支援

- ・認知症の人やその家族を支援するための場づくりや仕組みづくり

##### ○障がい者の親亡き後の生活支援

- ・重度障がい者が親亡き後も地域で安心して生活を続けられるような社会システムづくりにつながる施策の実施

##### ○高齢者・障がい者の移動支援等【再掲】

##### ○社会参加促進施策の強化【再掲】

##### ○高齢者の生きがい創業・就業支援【再掲】

### ③安心のまちづくり

高齢者が外出しやすくなるような、ソフト・ハード両面にわたる社会のバリアフリー化やICT活用の推進

#### <主な新規・拡充施策>

##### ○ベンチ等の設置

- ・歩道のバリアフリー化等に加え、バス停や公園などで休憩できるベンチ等の設置拡充

##### ○公共交通や住宅のバリアフリー化

- ・鉄道駅のバリアフリー化やノンステップバスの導入促進に取り組むとともに、住宅のバリアフリー化を促進

##### ○ICTの活用

- ・ICTを用いた、地域包括ケアシステムの構築や、高齢者の見守りの仕組みづくりの検討